

家庭学習の手引き

保護者の皆様へ

学習習慣の定着、進んで学ぶ子供を目指して

1 自分で学習計画をつくり、決めたことをやり抜く姿を見守る。

- ・子供が自ら学習計画をつくり、自分で決めたことに基づいてやり抜くことが大切です。取り組む姿を見守り、応援して、主体性を育てていきましょう。
- ・学習計画をつくる際には、発達段階によって保護者のサポートが必要な場合があります。お子様から学校での授業の進み具合を聞き取りながら無理のない計画を一緒につくり、計画に沿った取組が継続できるようにしましょう。



2 ゲーム、スマートフォンなどの使用時間のルールを一緒につくる。

- ・ゲーム、スマートフォンなどの使用時間のルールをお子様と一緒に決め、時間の使い方を大切にする意識を育みましょう。その際、お互いに納得できるように、話し合っって約束をつくることを大切にしましょう。

【ルールの例】

- 使用する場所や時間を決める。（食事中、入浴中に使わない。寝室に持っていかない。電話の使用、メールの送受信は、夜〇時までにする など）
- リビングなど、保護者の目が届く場所で使う。
- オンラインゲームのルールを決める。（課金しない。知らない人とはゲームをしない など）
- アプリをダウンロードする時は、保護者に相談する。
- 写真や動画を撮影する時には許可を得る。許可なく投稿しない。

3 読書の習慣を定着させ、読書の幅を広げられるようにする。

- ・読書は、全ての学びの基盤であり、伝える力や新しいものを考える力を育むことにつながります。
- ・大人が読書をする姿を見せるなど、子供の読書への関心を高める雰囲気をつくりましょう。また、読書の幅を広げるために、様々な分野の図書に触れられるようにしましょう。



お子様の家庭学習をサポートするために

学習できる体をつくる

- ・睡眠を十分にとる
- ・食事に気を配る
- ・適度な運動をする



ほめて・認めて・はげます

- ・「よくできたね」
- ・「上手に書けたね」
- ・「がんばっているね」



学習する環境をつくる

- ・学習は決まった場所で行う
- ・学習する時間を決める
- ・テレビを消す



お子様と一緒に学習する

- ・体験を通して家族と学ぶ機会をつくる
- ・家族で読書に親しむ
- ・学校のことなど会話の時間を増やす
- ・オンライン教材などを利用する

小学
1・2
年

一緒に学習してやる気を起こす時期

学習習慣の確立に向けて

	1年	2年
国語	<ul style="list-style-type: none">●音読：教科書の習ったところを声に出して読む。●読書：好きな本を選んで読む。	
	<ul style="list-style-type: none">●学習した文字を形を整えて、丁寧に練習する。・文字を書く練習をする。・文や文章の意味に合った正しい漢字を書く。	<ul style="list-style-type: none">・学習した漢字を使って文や文章を書く。・文や文章の意味に合った正しい漢字を書く。
算数	<ul style="list-style-type: none">●学習したたし算やひき算を使う練習をする。・ものの数のちがいやお金の計算（たし算、ひき算など）をする。	<ul style="list-style-type: none">・倍の数（かけ算など）の練習をする。
自主的な学習	<ul style="list-style-type: none">●日記や観察：順序を考えて書く、相手に伝わるように書く。●調べる：興味をもったことを自由に調べる。	

9年間の学びから

低学年ってこんな時期です

入学前
幼稚園
保育園
認定こども園

身の回りの様々なことに興味・関心をもち、何でも知りたがる時期

「早寝早起き」「あいさつ」「朝食をとる」などの生活習慣が学習習慣の基盤となる

家庭での関わり

■ 子供の「あのね…」を聴きましょう！

- ・学校のことや友達の話や「よかったね」「楽しかったね」と受け止める。
- ・忙しい時間でも手を止めて話を聴く。

■ 子供と一緒に学習しましょう！

- ・学校からのお便りや宿題を一緒に確認する。
- ・子供と一緒に家庭での学習計画を立てる。
- ・就寝前に一日の生活を一緒に振り返る。

「家庭で子供が学習に取り組む雰囲気づくり」を考えるポイント

- 子供が好きな教科、得意な教科を知っている。
- 新聞やテレビのニュースなどの話題をもっている。
- 学習への関心や意欲が高まる会話や声掛けをしている。
- 家族で読書をする習慣がある。
- 子供ができたこと、挑戦したことをほめている。

学校で学ぶICTスキル

- ・タブレット端末やアプリの起動ができる。
- ・写真や動画の撮影ができる。
- ・手書きで文字や絵をかくことができる。



小学
3・4
年

認めてほめて自信をつける時期

学習習慣の確立に向けて

	3年	4年
国語	<ul style="list-style-type: none">●音読：教科書の習ったところを正しく読む。●読書：幅広いジャンルの本を読む。	
	<ul style="list-style-type: none">●学習した漢字のへん、つくりを考えて練習をする。	
	<ul style="list-style-type: none">・ローマ字、国語辞典を使って学習する。 (3年生は新出漢字200字、4年生は新出漢字202字)	
算数	<ul style="list-style-type: none">●学習したかけ算やわり算を使いこなす練習をする。	
	<ul style="list-style-type: none">・わり算、かけ算の筆算などの練習をする。	<ul style="list-style-type: none">・わり算の筆算、小数のたし算・ひき算などの練習をする。
自主的な学習	<ul style="list-style-type: none">●日記や作文：順序を考えて書く、中心をおさえて書く。●復習：基本の学習(宿題)の他に、授業で習った内容について、教科書を読んだり、ノートを見返したりする。間違えた問題をもう一度やってみる。●調べる：分からないことを本やインターネットで調べる。●まとめる：学習した語句や内容をノートにまとめる。	

9年間の学びから

中学年ってこんな時期です

学習への意欲が高まる一方で、学習への戸惑いや苦手意識をもつ時期

自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなる

家庭での関わり

■ やる気を育てましょう!

- ・家族の温かい助言や励ましの言葉が、子供のやる気につながる。

■ 手助けをしながら見守りましょう!

- ・宿題や持ち物の点検等では見守りが必要。少しずつ自分で取り組めるよう支援する。

「家庭で子どもが学習に取り組む雰囲気づくり」を考えるポイント

- 子供が好きな教科、得意な教科を知っている。
- 新聞やテレビのニュースなどの話題をもっている。
- 学習への関心や意欲が高まる会話や声掛けをしている。
- 家族で読書をする習慣がある。
- 子供ができたこと、挑戦したことをほめている。

学校で学ぶICTスキル

- ・ローマ字を用いて、キーボードで文字の入力ができる。
- ・Webページから必要な情報を収集することができる。
- ・写真や動画にタッチ操作で説明やイラストを加えることができる。



学習習慣の確立に向けて

	5年	6年
国語	<ul style="list-style-type: none"> ●音読や読書：教科書に出てきた作者の書いた本などと読み比べて読む。 ●学習した漢字を意味や成り立ちを考えて使う練習をする。 (5年生は新出漢字193字、6年生は新出漢字191字) 	
算数	<ul style="list-style-type: none"> ●学習した計算方法を使いこなす練習をする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・分数のたし算・ひき算、速さの求め方などの練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数のかけ算・わり算、体積の求め方などの練習をする。
自主的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ●日記や作文：読んだことや聞いたこと、出来事などをもとに、事実と自分の考えを区別して書く。 ●予習：次の授業で学習するところを、デジタル教科書やいばらきオンラインスタディplus、NHK for schoolを活用して学ぶ。 ●復習：授業で習った内容について、ノートやタブレット端末にまとめ直す。 デジタルドリルを用いて分からなかったところの問題に取り組む。 ●調べる：分からないことを出典や引用元を明らかにして、辞典や教科書・資料集、インターネットで調べる。 ●まとめる：学習した語句や内容をノートやタブレット端末に工夫してまとめる。 ●問題に取り組む：参考書や問題集、デジタルドリルなどで新しい問題に挑戦する。 	



9年間の学びから

身体的な特徴や勉強・スポーツなどのことで、友達との違いが気になる時期

高学年ってこんな時期です

自分でできることが多くなり、達成感が得られると、さらにやる気をもって取り組む

家庭での関わり

■ 自分の良さに気付かせ、自信をもたせましょう!

- ・他との比較ではなく、わが子のちょっとしたがんばりでも認めてほめる。
- ・子供が安心感をもてる温かい言葉かけをする。

■ 子供の興味・関心を大切にしましょう!

- ・宿題だけでなく、興味のある学習を深めることが達成感と次への意欲に結びつく。
- ・学習への関心を高める環境をつくる。
- ・個人用スマートフォンなどを使用する場合は、家庭のルールを決めて使用する。

「家庭で子供が学習に取り組む雰囲気づくり」を考えるポイント

- 子供が好きな教科、得意な教科を知っている。
- 新聞やテレビのニュースなどの話題をもっている。
- 学習への関心や意欲が高まる会話や声掛けをしている。
- 家族で読書をする習慣がある。
- 子供ができたこと、挑戦したことをほめている。

学校で学ぶICTスキル

- ・キーボードを用いて、正確に文字入力ができる。(10分間に400文字程度)
- ・写真や動画に文字入力での説明やイラストを加えることができる。
- ・キーワード検索を行い、必要な情報を収集することができる。
- ・写真や文字を活用し、相手に伝えるプレゼン資料をつくることできる。

学習習慣の確立に向けて

学習の進め方

- 学習内容が大幅に増え、課題も多く出される。
 - ・ あらかじめ自分で調べたり考えたりしてから授業に臨むための予習をする。
 - ・ その日の学習したノートやプリントを使って学習のポイントを整理する。
 - ・ 苦手克服のために、復習に重点を置いて学習する。
- 定期テストや実力テストなど、テストの回数が増える。
 - ・ 学校から出される試験範囲をもとに、計画を立て、継続して学習できるようにする。
- 部活動との両立が大切になる。
 - ・ 限られた時間を有効に活用し、学習時間を確保できるよう、時間の使い方を工夫する。
- ICTを効果的に活用していく。
 - ・ 調べ学習や授業の振り返り、授業動画の視聴や応用問題への取組など効果的に活用する。
 - ・ 検索した情報は、出典や引用元を明らかにしながら活用する。

9年間の学びから

中学生ってこんな時期です

将来に対する漠然とした夢や希望を抱くが、見通しがもてず不安や悩みを多く感じる時期

自分が進むべき方向性がわかり、目標が定まると、進路実現に向けて粘り強く取り組もうとする

卒業
進学
社会人

家庭での関わり

■ 将来について共に考える機会をもちましょう！

- ・ 日頃の親子のコミュニケーションを大切にする。
- ・ 進路について定期的に話し合う機会をもつ。
- ・ 情報モラルについて話し合う機会をもつ。

■ 集中できる学習環境をつくりましょう！

- ・ 静かで集中できる場所を確保する。
- ・ 必要な進路情報を集める。
- ・ 個人用スマートフォンなどを使用する場合は家庭のルールを決めて使用する。

「家庭で子供が学習に取り組む雰囲気づくり」を考えるポイント

- 子供が好きな教科、得意な教科を知っている。
- 新聞やテレビのニュースなどの話題をもっている。
- 学習への関心や意欲が高まる会話や声掛けをしている。
- 家族で読書をする習慣がある。
- 子供ができたこと、挑戦したことをほめている。



学校で学ぶICTスキル

- ・ フォルダやファイルの管理ができる。
- ・ キーボードを用いて、十分な速さで正確に文字を入力することができる（10分間に600文字程度）。
- ・ 写真や動画を編集することができる。
- ・ 複数のキーワードを組み合わせて、効率的に情報を検索することができる。
- ・ 写真や文字、動画を活用し、相手に伝わるプレゼン資料をつくることができる。